

ごあいさつ

日頃、皆さまには格別のご愛顧をいただき厚く御礼申し上げます。

JAあいら伊豆は、情報開示を通じて経営の透明性を高めるとともに、当JAに対するご理解を一層深めていただくために、当JAの主な事業の内容や組織概要、経営の内容などについて、利用者のためにわかりやすくまとめたディスクロージャー誌「2018JAあいら伊豆現況のご報告」を作成いたしました。皆さまが当JAの事業をさらにご利用いただくための一助として、ご一読いただければ幸いです。

さて、農業やJAを取り巻く情勢は、農業従事者の減少・高齢化などによる農業労働力の低下や、平成30年3月に署名された「TPP11」の法案成立、日欧EPAの交渉妥結など、我々農業関係者を取り巻く環境は非常に厳しい状況が依然として続いています。

管内の農業においても、農家の後継者不足や耕作放棄地の問題など、課題が山積している状況です。平成29年度の決算につきましては、組合員、地域の皆さまに多くのご利用をいただき、役職員一丸となって取り組んだ結果、税引前当期利益で1億1,673万円を確保する事が出来ました。組合員の皆さまのご理解ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

このような状況の中、平成29年度は、自己改革の実践を大きなテーマとした「JAあいら伊豆3か年計画～ともに拓こう、協同が輝く時代～」の初年度として、直販体制を重視した少量多品種・多品目栽培の提案や、研修型援農支援の実施、生産資材コストの軽減を図り、農家組合員の農業所得向上に向けた取り組みを実践しました。また、「地域に根ざしたJA」へ向けた取り組みとして、「子育て支援教室」を開催するなど、地域の皆さまとの絆づくりに取り組みました。

平成30年度は現3か年計画の中間年度として、取り組み内容の見直し・スピードアップを図るとともに、自己改革を進め、健全な経営のもと、役職員一丸となり「農家組合員の農業所得の向上」、「くらしの豊かさの実現」に貢献してまいりますので、今後とも変わらぬご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます、ごあいさつといたします。

平成30年7月
あいら伊豆農業協同組合
代表理事組合長 土屋 壽良